

# ダンマリが議会の役目！？ 日本共産党「強く抗議」を表明

10月4日、市議会最終日の早朝7時20分過ぎ、「国民保護情報」が発出。全国的に緊張と不安が走ったさなかで、市議会は…

## 東アジア地域の軍事的緊張を高めるあらゆる行為に抗議する決議

**否決**

ロシア政府によるウクライナへの軍事的侵略が始まって半年が経過したが、その被害は甚大なものとなっており、戦争が一度始まれば取り返しがつかない事態になることは明白である。

また、立場や歴史、宗教、統治の方法等が異なる立場でも外交努力を積み重ね、平和を築く努力の大切さが改めて共有されている。

一方、中国政府は、米国下院議長による台湾訪問への対抗措置として、8月2日から台湾近海で軍事演習を開始した。また4日には台湾を取り囲む6カ所の海域で実弾演習を行い、日本の排他的経済水域内を含む近海に複数の弾道ミサイルが着弾した。

これは、地域の平和と安定を揺るがし、台湾国民政府や台湾住民の自由に表明されるべき民意に対する軍事的な圧力や威嚇

の強化となりうるもので、強く抗議する。

同時に、中国・台湾問題の解決に向けた外交努力や協議の場が確保されていない下で、アメリカ合衆国大統領の継承順位3番目にあたる地位の人物が、米国内の慎重論を聞かず、台湾訪問したことは、緊張を高める材料になりかねない。

また、日米、米韓の合同軍事演習や軍事的関与のさらなる強化、北朝鮮による核ミサイル実験は、「軍事対軍事」の悪循環に陥る危険をはらんでいる。

よって、どんな国であろうと、どんな理由があろうとも、東アジア地域の軍事的緊張を高めるあらゆる行為には強く抗議し、平和的解決を求める外交努力を積み重ね、東アジアの平和と安定に寄与することを各国政府に強く求める。以上、決議する。

右文は、8月26日時点で党市議団が提出した決議案文で、9月8日までなら他会派の意見を参考に修文も可能です。しかし、意見は出されず、結果、北朝鮮政府への抗議声明も、決議案への討論もなく、賛成12、反対14と否決（賛否は市議会ホームページから）。地方議会から機敏に対応ができるよう引き続き、頑張ります。



流山市議会議員

小田桐たかし

# 「これまでも、これからも、関係は持たない」市長答弁

## 小田桐議員が追究

令和4年第3回定例会

市議会一般質問で、小田桐た

かし議員の質問に対し、井崎市

長は「これまでも、これからも

関係は持たない」と表明しまし

た。

党市議団では、議会・議員側

からも発信するべく、意見書案

を提案しました。

## 旧統一協会と政治家の癒着を究明し、 決別を求める意見書

否決

安倍晋三元首相への銃撃事件を機に、政党や議員と「旧統一協会」（世界平和統一家庭連合）の癒着が表面化し大きな社会問題になっている。

旧統一協会は、献金強要、洗脳、靈感商法、集団結婚式など多くの問題を引き起こし、多数の被害者を生み出してきた反社会的カルト集団との報道もされている。

全国靈感商法対策弁護士連絡会（全国弁連）によれば、2021年12月までの34年間で、全国弁連の弁護士や消費生活センターが受けた旧統一協会に関する相談件数は3万4537件で、被害総額は1237億円に上るとされ、

これでも「氷山の一角」だと指摘している。

「旧統一協会」は、靈感商法や高額献金強要など消費者被害を拡大する一方、政権与党や閣僚・議

員との癒着を強めてきた。「旧統一協会の関連団体イベントへの挨拶やメッセージ」を要請し、「選挙の支援」や「パーティー券の購入」など協力関係を深めてきたのである。

国家公安委員長、防衛大臣など現職の閣僚が「旧統一協会」関連団体と関係していた事実や、「統一協会」から「世界平和統一家庭連合」への名称変更が、「旧統一協会」と関係があったとされる文部科学大臣のもとで承認された問題など、疑惑は深まる一方である。

よって、本市議会は国に対し、「旧統一協会」と政治家の癒着を究明し、決別するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

## 旧統一協会についてもダンマリ。

意見書案には、討論もなく、賛成12、反対14で否決。自民党公認市議のうち2名は賛成したものの、自民保守系・公明

党の各市議が反対しました。これでは、岸田首相のメンツ丸つぶれ。内閣・与党の本気度までも疑われてしまいかねません。